

世界に羽ばたく第一歩

Study abroad in the Philippines

フィリピン 大学進学



目次

01 フィリピン基本情報

02 フィリピン人気都市

03 フィリピンの大学がおすすめな理由

- ・安い学費
- ・高い英語教育

04 フィリピンの大学に通うKさんケース

- ・1日のスケジュール
- ・住居 / 食事 / 物価 / 治安 / 英語環境
- ・これから留学する人へ

05 フィリピンの大学情報

- ・トップクラスの大学4選
- ・中堅クラスの大学4選
- ・留学費用
- ・主な入試内容
- ・入試までのスケジュール
- ・手続きに必要な書類一覧
- ・よくある質問

フィリピン基本情報

日本に近く過ごしやすい街フィリピン



名称: フィリピン共和国

面積: 29万8170km², 7641の島からなる

人口: 約1億903万人 (2020年国税調査)

言語: フィリピン語及び英語

民族: マレー系, 他スペイン系と中華系

通貨: 1ペソ = 約2.6円

宗教: 国民の85%がキリスト・カトリック教

飛行時間: 羽田空港から約5時間

気候: 熱帯気候

(12-5月が乾季, 6-11月が雨季)

時差: 日本より1時間遅れている

大学数: 日本約800校, フィリピン約2300校



フィリピン人気都市

目的に合った地域で夢の実現ができます！

フィリピンは日本と同様、島国であり縦に長く広がる地形が特徴です。その為、多様な環境が存在します。山や海、都市など異なる自然や生活環境があります。自分に合った場所で理想の生活スタイルを実現できるのがフィリピンの大学留学の魅力です。

マニラ

経済と文化の中心



マニラはフィリピンの首都です。「メトロ・マニラ」とも呼ばれており東京都を上回る人口規模です。高層ビルが立ち並ぶ経済成長の著しい都市です。

セブ

観光地と留学地の融合



セブはフィリピン中部に位置する美しい島で観光地として有名です。語学留学も盛んで、多くの留学生が集まり人気があります。

イロイロ

歴史ある港町



イロイロは、のどかな雰囲気と優しい人々が住むことで知られているとても住みやすい街です。英語教育の水準が高く、世界中から学生が集まります。

バギオ

涼しい高原都市



バギオは、高地にある山岳都市で年間平均気温が20℃前後と低く、避暑地として知られています。また教育都市としても有名です。

フィリピンの大学がおすすめな理由

低コスト・高クオリティの英語教育

安い学費

フィリピン



私立大: 15万円~25万円
国立大: 8万円~13万円

日本



私立大: 120万円~200万円
国立大: 60万円~85万円

アメリカ



私立大: 400万円~650万円
州立大: 150万円~300万円

※ 1年間の学費

“日本の1/10, アメリカの1/30”

フィリピンの大学は留学費が圧倒的に安い!
欧米や日本と比較してもその差は歴然です。

高い英語教育

“大学の授業は基本的に全て英語”

フィリピンはアメリカの植民地であった歴史的背景から
国民の約9割が英語を話します。
現在でもフィリピンの公用語は英語であり、都市部では
幼稚園から英語教育を行っています。

フィリピンの大学に通うKさんの例

教師や仲間にも恵まれて濃い毎日を送っています！

1日のスケジュール



山梨県出身 Kさん

(コメント)

私は現在18歳、2024年からフィリピン大学バギオ校の一年正規留学生として大学に通っています。入学前は語学学校に滞在し、今は沢山の人の力を借りながらアパートで一人暮らしをしています。英語に自信があったものの、授業のレベルの高さに圧倒され何度も悔しい思いをしました。最初は授業について行くことですら精一杯で、今でも学習面は決して楽ではないですが、できたことを仲間と分かち合う喜びを噛み締めながら濃い日々を送っています。バギオ校に日本人は一人しかいません。周りには中国や韓国、中東やアフリカ、ヨーロッパからも優秀な生徒が集まり、刺激の多い毎日です。

	平日	休日(1)	休日(2)
6:00	・起床 身支度、朝食		
7:00	・登校 学校まで徒歩10分		
8:00	・1限 Argumentation (90分)	カフェテリアのご飯(1)	カフェテリアのご飯(2)
9:00	・2限 World Literature (90分)	・起床	・起床
10:00		・出発	
11:00	・3限 Purposive Communication (90分)	フィリピンの大学は、projectと呼ばれるグループワークが多いことが特徴です。休日はグループで集まって昼食を共にし、準備を進めます。例えば、コミュニケーションの授業で劇を考えたり、理科に授業でリサイクル用品から新商品を作ったり、プレゼンの準備をしたりします。	クラスメイト
12:00	・空きコマ(昼食) 友達と夕食を食べたり、カフェで勉強したり、食料を買に行ったりします。		・友達と遊ぶ バギオの中心街であるSMモール付近や、セッションロードのカフェ、イベントに参加しています。
13:00			
14:00	・4限 Social Media Principles (90分)	学部でのイベント	友達と昼食
15:00	・5限 Ethics (90分)		・帰宅・シャワー
16:00	・帰宅 カフェテリアで友達とお弁当を買ったものを食べます。		
17:00	・夕飯・シャワー できるだけ自炊をするように心がけています。	アートクラスでの劇	計画準備した七夕祭り
18:00			・自分時間 日本の友達、家族に電話、くつろぎながら日本のテレビと映画を見てリフレッシュしています。
19:00	・課題・復習 毎日必ず課題が出るのでその日に終わらすようにしています。小テストが多いので復習も必要不可欠です。	・帰宅・シャワー 夕食はプロジェクト終わりに食べてくることが多いです。	・勉強
20:00		・勉強 プロジェクトでの内容を覚えたり、新しくアイデアを考えたりしています。	
21:00			コラージュによるプレゼン
22:00	・明日の準備・自分時間 疲れた体を趣味である音楽を聴いたり、映画を見たりして回復させています。		・就寝
23:00	・就寝	・就寝	・就寝

フィリピンの大学に通うKさんの例

住居



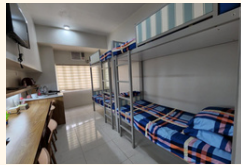
※コンドミニアム



※学生寮



※コンドミニアム



※学生寮

“住みやすいコンドミニアム、
費用の抑えられる寮”

コンドミニアムは日本でいうマンションのようなもの。家具、什器、Wi-Fiが全て揃っており住みやすいのが特徴。大学によりますが、低コストでシェアルームできる学生寮もあります。

食事



※ローカル料理



※イタリアン料理



※ローカル料理



※韓国料理

“自炊で節約、
意外と知らない外食事情”

一人暮らしで節約をするには、自炊をすることも大切です。ローカルなレストランで食事をするのと自炊より安い場合もありますが、一般的なレストランは日本と値段がさほど変わりません。もちろん日本食レストランも多くあります。

物価



※パブリックマーケット



※ナイトマーケット



※スーパー



※フィリピンのユニクロ

“フィリピンの物価は安い!?”

物価が日本の1/2とも言われるフィリピンですが、実際の物価は日本と変わらないか、高いこともあります。特に大型スーパーマーケットでは意外に金額は高くなります。パブリックマーケット(庶民的な売場)の野菜や果物は比較的安いものが多いです。

フィリピンの大学に通うKさんの例

治安



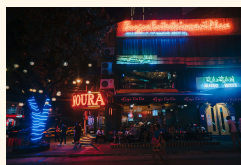
※昼間



※夜間



※昼間



※夜間

“夜間や貴重品には注意しましょう“

フィリピンでの昼間は安心して過ごすことが出来ます。もちろん、身の回りの貴重品には一定の注意が必要です。夜間は一人で出歩くことはオススメではありません。

英語環境



“英語が通じない場面も

もちろんあります”

中心街や観光地では、問題なく英語が通じます。田舎でも流暢とは言えませんが英語で会話することもできます。学校の授業は全て英語です。一方で、ローカルな場面では現地語が好まれる場合があります。

これから留学をする人へ

『世界中に友達ができました』

私に通う大学は韓国や中国のアジア圏だけでなく、アフリカやヨーロッパ、中東からも生徒が集まる国際色豊かな校風が特徴です。留学生コミュニティの集会などで親睦を深める機会もあります。私の一つの夢は、大学卒業後に友達の出身国に訪れて文化に触れることです。

『自律できました』

私は年間仕送りを入学前に両親と話し合って決めて、現在はお金の管理を全て行なっています。海外での一人暮らし、病気になった時、学習面で困難に直面した時、ホームシックになった時、環境の変化に悩む時など様々な場面で自分を試すことで自分の自信につながっています。将来に必要な力を培う大学生時代に日本では経験できないことができていることに感謝しています。

『卒業のハードル高いです』

入学することができても、フィリピン人ですら何年制の大学をきっちりその期間で卒業することが難しいとよく聞きます。課題の多さ、4年間1限の必修、クラスの多さに悩まされる毎日です。

フィリピンの大学情報

トップクラスの大学への進学は英語力が必要

トップクラスの大学4選

フィリピン大学デリマン校

University of The Philippines Diliman



どんな大学？

- ・フィリピンの東大，最大規模のキャンパス
- ・フィリピン大学5キャンパスの一角
- ・世界各地から優秀生徒が集まる

学部

教育 理学 社会科学 人文科学 教養 造形 音楽経営
言語 行政 観光 建築 情報工業 医療保険 食品

基本情報

大学レベル:1位 学生数:25000
学期制:国立二学期制 滞在法:コンド・寮
入学時期:8月 IELTS目安:6.5以上

アテネオ大学

Ateneo De Manila University



どんな大学？

- ・卓説したリーダーシップを育む
- ・世界的に評価されるカリキュラム
- ・心と知を鍛えるイエズス教育

学部

工学 理学 経営 文理 教育 法学
薬学 建築 神学 看護 科学 科学技術

基本情報

大学レベル:2位 学生数:12000
学期制:私立二学期制 滞在法:コンド・寮
入学時期:8月 IELTS目安:6.5以上

デ・ラ・サール大学

De La Salle University



どんな大学？

- ・未来を創るイノベーション教育
- ・社会主義と持続可能な未来を目指す理念
- ・国際的評価を誇るビジネス学部

学部

工学 理学 経営 コンピュータ 国際関係 人文
教育 法律 経済 コミュニケーション

基本情報

大学レベル:3位 学生数:16000
学期制:私立三学期制 滞在法:コンド・寮
入学時期:8月 IELTS目安:6.0以上

アダムソン大学

Adamson University



どんな大学？

- ・留学生の招致に尽力
- ・国際色豊かなキャンパス
- ・学生寮の充実

学部

教育 工学 経営 医療 保健 理学 情報工学
建築 行政 教養 人文科学 観光

基本情報

大学レベル:15位 学生数:15500
学期制:私立二学期制 滞在法:コンド・寮
入学時期:8月 IELTS目安:6.0以上

フィリピンの大学情報

英語力を磨いて魅力溢れる中堅大学へ

中堅クラスの大学4選

サン・カルロス大学

University Of San Carlos



どんな大学？

- ・伝統的な先進的な教育
- ・セブを代表する総合大学
- ・未来志向の研究と社会貢献の充実

学部

工学 理学 経営 法学 教育 建築 神学
社会学 コミュニケーション 看護

基本情報

学期制:私立二学期制 学生数:15000
入学時期:8月 滞在法:コンド・寮

セント・ルイス大学

Saint Louis University



どんな大学？

- ・バギオの象徴教育機関
- ・地域社会に根ざした高い教育
- ・世界で活躍できるスキルを養う学び

学部

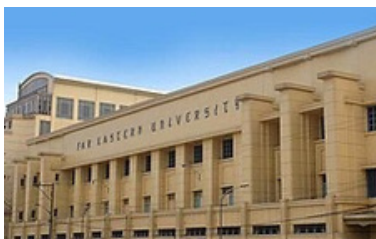
工学 理学 経営 法学 教育 神学
看護 コミュニケーション 社会学

基本情報

学期制:私立二学期制 学生数:25000
入学時期:8月 滞在法:コンド・寮

イースト大学

Far Eastern University



どんな大学？

- ・マニラ中心部の活気ある大学
- ・実践的なビジネスと法律の専門機関
- ・多様なバックグラウンドの学生が集う

学部

工学 理学 経営 法学 教育 看護 健康科学
コミュニケーション コンピュータ

基本情報

学期制:私立二学期制 学生数:40000
入学時期:8月 滞在法:コンド・寮

シリマン大学

Siliman University



どんな大学？

- ・美しいビーチサイドキャンパス
- ・グローバルな視点を持つ学生育成
- ・多様な学問分野で社会に貢献

学部

工学 理学 経営 法学 教育 社会学看護
神学 コミュニケーション 公衆衛生学

基本情報

学期制:私立二学期制 学生数:9000
入学時期:8月 滞在法:コンド・寮

フィリピンの大学情報

年間“140万円“で海外大学留学の実現

留学費用

	年間費用 <small>1円=2.5ペソ</small>	概要
学費	私立: 15万円~25万円 国立: 8万円~13万円	国立と私立の学費は約2倍ほど差があります。 いずれもリーズナブルな価格です。
家賃	寮: 12万円~24万円	寮は基本的に4人部屋でバスルーム、トイレ等は共同。 家賃には水道・電気・ガス代が含まれていることが多いです。
	コンドミニアム: 36万円~96万円	コンドミニアムの家賃は寮よりも高いですが、 快適な一人暮らしが月3万円~8万円で生活できます。
遊興費	6万円~15万円	カフェでの勉強時、友達との外食、買い物など。 物価は日本とさほど変わらず、節約することもできます。
必需品	3万円~6万円	トイレットペーパー、ティッシュペーパー、洗剤、シャンプーなどは日本よりも高めです。
食費	24万円~42万円	外食するペースを週2で計算したもの。 自炊をすることで節約することもできます。
保険	5万円~15万円	現地の病気は現地の薬の方が効くことが多いです。 健康保険の他に紛失保険への加入も推奨されます。
ビザ	4万円	学生ビザは学校側が手続きを行います。ビザ代+手数料が必要になります。ビザは基本的に一年更新です。
飛行機	4万円~10万円	夏休みと冬休みなどは、繁忙期で値段が高騰します。
その他	5万円~10万円	交通費、通信費(年間1万円ほど)、衣服、勉強道具、 その他費用
計	年間約140万円	費用は生活スタイルや住む環境により異なります。 年間100万円で生活することも可能です。 一般的には、120万円~200万円で十分な生活を送ることができます。

フィリピンの大学情報

主な入試内容

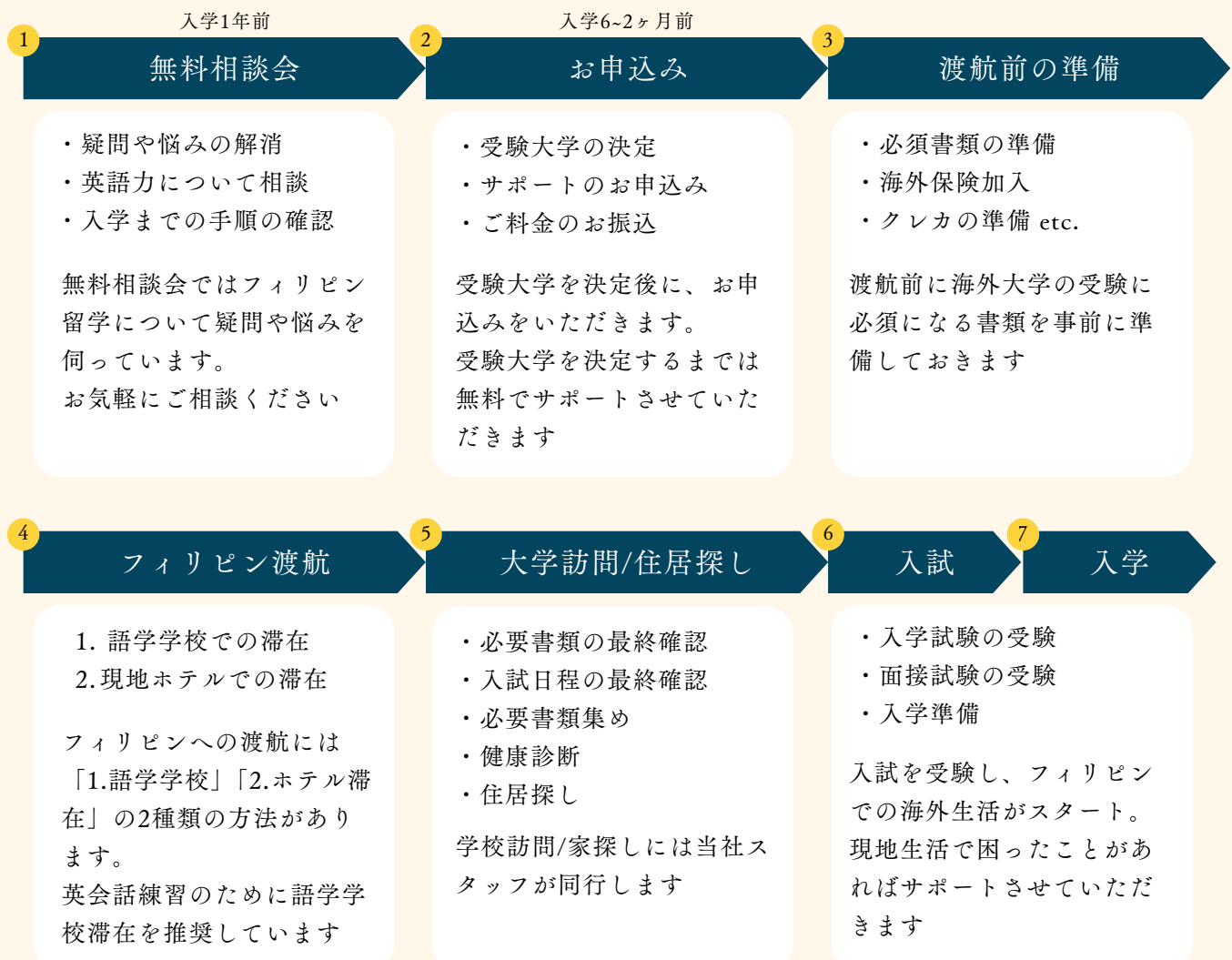
英語力目安 | IELTS 5.5~6.5が望ましい

入試科目 | 主に面接と筆記試験(エッセイ、IQテスト、数学テスト等)

※英語力の証明で筆記テストは免除される場合もあり

入試までのスケジュール

- ・入試情報は2ヶ月前に大学HPページにて発表されます
- ・入試情報掲載までに必須書類の準備をします
- ・入試情報掲載後は現地の大学を直接訪問し追加書類や手続きを確認します
- ・現地滞在は、語学学校滞在 / 現地ホテル滞在のいずれかを推奨しています



フィリピンの大学情報

手続きに必要な資料一覧

- 英語版高校卒業証明証 (外務省アポステイユ付き)
- 英語版高校成績証明証 (外務省アポステイユ付き)
- 英語版戸籍謄本
- 英語版出生証明
- 英語力証明証
- パスポート
- 健康診断証※現地の指定病院にて
- 証明写真2枚※白背景2cm×2cm

よくある質問

Q. 必要な英語力はどれくらいですか？

A. できるだけ英語力を上げて渡航してください。

授業は全て英語で行われるため、英語試験では測れない英語力が必要です

Q. 受験に必要な英語力証明はTOEIC, TOFEL, 英検でも大丈夫ですか？

A. 基本的にIELTS受験がおすすめです

Q. 年齢制限はありますか？

A. 特にありません。実際に幅広い年齢層の生徒が在籍しています

Q. 3年で卒業することは可能ですか？

A. はい。特に3学期制を使用している学校で可能です

Q. インターンシップの機会がありますか？

A. インターンシップは大学で必須になっている場合が多いです

Q. 卒業後のキャリアパスは？

A. 培った英語力を武器にグローバル企業や国際NGO等で活躍する卒業生も多いです

Q. アルバイトはできますか？

A. 学生ビザのため、現地就労はできません

Q. 大学院のサポートはしていますか？

A. 当社では大学(学部)への正規入学を支援しています。大学院はご支援対象外です。